



今月の題字
泉 澤 雅 也 君
(轟木小6年)

田町のあだい

国勢調査の実施本部を設置 体制整え準備を進める

町では、10月1日現在で行われる国勢調査に向け、山田町実施本部を設置。5月11日、本部長の川村永爾助役が実施本部となる役場総務課前に看板を掲げました。国勢調査は大正9年から5年ごとに行われているもので、今回で18回目。日本に住むすべての方が対象になります。調査結果は国や県、町などの行政施策として幅広く活用されます。ちなみに前回調査で本町の人口は21,214人（男9,971人、女11,243人）、世帯数は6,835世帯となっています。



山田どまんか商店街が発足 気軽に買い物を楽しんで

本町中心部の商店街の活性化を目指し、山田どまんか商店街（馬場安民会長・加盟18店）が発足しました。シャッターが閉まっていた店舗に3月に呉服店、5月に介護用品専門店とレストランが開店したのを契機に有志で立ち上げたもので、消費者に気軽に買い物を楽しんでもらおうと休憩用のベンチを設置するなどしています。発足イベントは5月14日と15日に開かれ、ミニ夜店が開設されたほか、山田大神楽と境田虎舞が商売繁盛の舞を披露しました。



飯岡の平泉宣さん 台湾から感謝状が贈られる 書画を通じた文化交流に尽力

日本の文部科学大臣に当たる中華民国台湾教育部の杜正勝部長から飯岡の平泉宣さん（47）に感謝状が贈られました。平泉さんは、4月に開催された朱振南・南奎雲友好書画展の実行委員代表として同展を成功させるなど、台湾と日本の文化交流に尽力。これまでの功績が認められたものです。5月17日、受賞の報告と併せて台湾の朱振南さんから山田町に寄贈された書「善縁」を届けに役場を訪問した平泉さんは、「この感謝状はわたしが頂いたのではなく、書画展などに温かく協力してくれた皆さんが頂いたものだと思っています」と感謝の気持ちを表していました。